



ものづくりの明日を担う。
次世代の若者たちに、技能を託す。

福島県いわき市で長年、制御盤などの電気の製造を営む株式会社 新生テクノ。その技能の高さには定評があり、国内有数の大手電機メーカーから支持されています。ものづくりマイスター制度を導入後、現場にどのような変化が生まれたのか、“未来のものづくりマイスター”に、お話を伺いました。

ものづくりマイスター派遣先企業

株式会社 新生テクノ

所在地 福島県いわき市好間工業団地16-16
事業内容 電気工事業

従業員数 48名
設立年 平成13年
資本金 1000万円



「私たちが、〈ものづくりマイスター〉の派遣をお願いした理由。」

会社全体の技能の向上は、
社外へのアピールにもつながる。

当社に所属するエンジニアの多くが、未経験から新卒で入社したメンバーばかり。会社全体の技能の向上は、重点テーマとなっていました。技能を高め、資格を取得することができれば、社外に対して自社の技術力をアピールする手段にもなる。資格取得に対しても、社を挙げて積極的に取り組んでいたところでした。外部の方から指導をいただいて、技能検定2級は全員が取得していたのですが、1級の取得者はゼロ。さらに技能のレベルを上げる方法を模索していたときに出会ったのが、ものづくりマイスター制度です。当社のような中小企業にとって、研修にかけられる時間や費用には、限界があります。そういった意味で、ものづくりマイスター制度は、当社のニーズに合致していました。今回ご指導をいただいたことで、技能検定1級の合格者も輩出。全社のモチベーションも高まり、以前にも増して技能をお互いに教えあう文化が根づいています。



株式会社 新生テクノ
取締役工事長 本間勇司さん

実施したカリキュラム

指導の概要

実施回数：3回 受講者数：2名
実施場所：株式会社新生テクノ 本社内



プログラム内容

- 1回目 検定1級用の練習機材を使った実技指導1
- 2回目 検定1級用の練習機材を使った実技指導2
- 3回目 検定1級用の練習機材を使った実技指導3

教育プログラムの解説

技能検定1級の課題をもとに、一つひとつの作業手順、作業内容の詳細、出来栄をチェックしながら指導を行いました。特に重視したのは、外観の仕上がりです。技能の高さは、仕上がりの美しさに現れるもの。細部に到るまで技能を高めるために、その場ですぐにフィードバックしながら、OJTに近い実践的な指導を行いました。また、工程ごとに時間を計測し、作業時間の短縮も図りました。

座談会
INTERVIEW

ものづくりマスター × 若手技能者
「実技指導を通して、こんなことを学びました。」

ものづくりマスター（写真_右から2番目）

大内 洋司さん

昭和34年生まれ
平成24年度 特級技能士「電気機器組立て」取得
平成29年度 厚生労働省 ものづくりマスター「電気機器組立て」認定

市内の高校を卒業後、制御盤の一貫生産を行う高橋電機株式会社へ。入社以来、電気機器の組立て、製造に携わる。所属会社では、現役の副工場長を務める。

受講した若手技能者（写真_右）

一ノ瀬 翔さん | 平成18年入社

市内の工業高校出身。高校では建築を学んでいた。ものづくりに携わりたいと思い、高校卒業と同時に、新生テクノへ。1級技能士。

受講した若手技能者（写真_左）

井丸 和明さん | 平成19年入社

普通科の高校を卒業後、新生テクノに入社。大工だった父の影響で、幼い頃からものづくりに憧れを持つ。2級技能士。

技能は、細部に宿る。

大内さん 今回指導にあたって、新生テクノの皆さんの技能のレベルは、非常に高いと感じました。皆さん、非常にきれいな配線をしている。エンジニアが全員、技能検定2級を取得されていると聞いて納得しました。私が教えなくてもいいんじゃないかと、はじめは思ったくらい(笑)。ただ、さらに技能のレベルを上げたいというお話だったので、外観の仕上がりに影響する細部について、指導をさせていただきました。

一ノ瀬さん 今回指導をいただいて、たく

さん発見がありました。例えば、何気なく部品の銘板の上に配線を通していたところを指摘していただいて、よりよい配線を意識するようになったり。はんだの量や、コテの当て方なども、これまでやっていた方法と違うやり方を教えていただいたり。非常にためになりましたね。

井丸さん 自分の理解では少し曖昧だった部分も指摘していただいて、基本的な技能をイチから勉強できたと思います。電線を束ねる結束バンドの区間や縛り具合など、細かなところまで指導していただけたのはありがたかったです。



「次はもっと」という飽くなき向上心。

一ノ瀬さん 私自身、入社してから10年余り経っているので、新人の頃に比べ、先輩から指導を受ける機会が減っていました。大内マスターに指摘してもらうことで、自分自身の技能を改めて見直すことができたと思います。指摘をいただく度に、「次は、もっとうまくやろう」という気持ちが湧いてきて、実技指導は毎回楽しみでした。

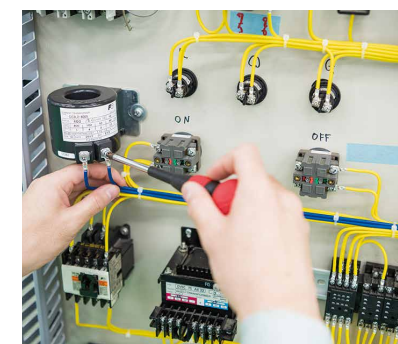
井丸さん やはり外部の方に見ただくと、モチベーションは上がりますね。私も「もっときれいにやろう」という気持ちが自然と高まりました。

大内さん 普段、自社のメンバーに技能の指導をすることはありますが、他社の方に指導をするのは今回が初めてで



ものづくりマスターから、
未来のものづくりマスターへ。

した。最初はどのように伝えたらいいか、色々考えました。2人とも非常に素直で熱心。真面目に取り組んでいただけたので、私自身、とても楽しく指導に当たることができました。



未来のものづくりマスター。

井丸さん 今回指導を受けたことで、製品に対してきれいに仕上げようという気持ちが、以前より強くなりました。時間をかけすぎずに作業の精度をあげることは、今後も心がけていきたいと思っています。

一ノ瀬さん 大内マスターの指導を受け、技能のレベルを高めることができたと思います。おかげさまで、1級技能者の肩書きもつきました。これからは、私が後輩に対して指導をしていく立場。大内マスターに教えてもらったことを、同じように後輩にも伝えていきます。

大内さん 新生テクノさんは、お互いに

教えあう文化があるところが素晴らしいですね。人に教えることも、自身の技能を高めることにつながりますから。電気機器組立ては、量産が効かない技能。AIやIoT化がどんなに進んでも、ものづくりにおいて人、そして技能の重要性は変わりません。2人にも、ぜひ今後も技能の向上に努めていただきたい。ゆくゆくは、ものづくりマスターとして活躍いただけたらいいと思います。